

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画【第3版】

－ 感染拡大を防止し早期収束と市民生活の不安に対応するために必要なこと －
第一は「感染拡大防止策」の充実、第二は「経済活動回復」の支援

感染拡大防止／フェーズ 1

- 集中期間 2020年4月～2020年6月 (3か月)
- 予算規模 約**28.8億円** [市単独事業 約3.0億円
補助事業 約25.8億円]

【第1弾】

4月22日補正予算／約0.4億円

✓ 保健・医療・福祉提供体制の整備等

- ・サーチカルマスク、消毒用エタノール、防護服等の配布・配備・備蓄
- ・人工呼吸器、滅菌用噴霧器、空気洗浄機器等の整備・設置
- ・妊産婦、内部障がい者、医療機関等へのマスク提供ほか

【第2弾】

4月22日補正予算／約0.3億円

✓ 市民生活維持の支援等

5月1日補正予算／約25.5億円

- ・国の特別定額給付金の早期交付への対応
- ・飲食業等を支援するための家賃等助成金の交付、上下水道料金の減免
- ・生活資金の貸付、市税の納税猶予、国保税の減免への対応ほか

【第3弾】[緊急事態宣言の延長に伴う 市独自の追加施策]

5月14日補正予算／約2.6億円

✓ 事業継続・雇用維持の支援等

- ・中小、小規模事業者の事業継続等を支援するための助成金の交付
- ・公共交通、宿泊施設における感染リスク低減の取組に対する費用助成
- ・育児と仕事を一手に担う「ひとり親家庭」への緊急的な生活支援金の給付
- ・保護者の経済的負担軽減のため学校給食費2か月分の徴収免除
- ・国の子育て世帯臨時特別給付金の早期交付への対応
- ・市役所におけるテレワーク導入、ITを活用した保健指導の実施ほか

注) 財源は、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る補助金(約25.8億円)、国の地方創生臨時交付金(単独事業分/約1.5億円)、市財政調整基金(約0.7億円)、市ふるさと応援関連基金(約0.7億円)、指定寄附金(約0.1億円)を措置済み。

経済活動回復／フェーズ 2

- 集中期間 2020年6月～2022年3月 (1年10か月)
(緊急事態解除宣言後)
- 予算規模 約**3.6億円～** (第2弾以降は別途調整)

【第1弾】

6月定例月議会補正予算(予定)／約3.6億円

✓ 経済活動回復に向けた支援等

- ・域内消費喚起のためのプレミアム付き商品券の発行
- ・飲食店利用客等の回復支援のためのクーポン券の発行
- ・路線バス、タクシー利用客等の回復支援のための前払い式プレミアム付き乗車券発行の取組みに対する補助
- ・“新しい生活様式”への対応や集客回復等に資する販売促進、地場水産物の消費回復等の取組に対する費用の助成など

✓ 長期化への備えと社会変容への対応等

- ・医療、介護従事者等の安全確保のための施設支援金の給付
- ・児童生徒1人1台PCなど“GIGAスクール構想”的推進によるオンライン学習環境の早期整備など

【第2弾以降】

調整中

✓ その他追加的措置の対応等

- ・国の第2次補正予算(地方創生臨時交付金拡充等)への早期対応
- ・国の「(仮称)Go To キャンペーン」等と連動した観光事業者向け支援など

上記のほか、ふるさと応援寄附金を原資として、(仮称)新型コロナウイルス感染症対策基金を造成するとともに、これら基金等を効果的に活用しながら、“Withコロナ”への対応など社会経済の回復等に万全を期す。

注) 財源は、(仮称)市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金(約3.6億円)を見込む。なお、実情に応じて必要な事業を追加して実施できるよう、国の第2次補正予算も見据えつつ地方創生臨時交付金の拡充への対応など財源確保に努める。



新型コロナウイルス感染症に関する緊急経済対策展開計画の推進の
ための基金の設置について

令和2年5月18日
根室市総合政策部

「新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画(令和2年4月)」を着実に推進し、
経済活動再開と感染拡大防止策の両立という“Withコロナ”の長期化に対応するため
の基金として、また、この趣旨に共感したふるさと応援寄附金を適正に管理運営する
ために、「根室市ふるさと応援寄付条例(平成20年条例第18号)」第2条の各号に定
める基金に加えて、新たに「(仮称)根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症
対策基金」を設置することとし、その概要は以下のとおり。

記

1 条例一部改正案の概要

基金名称	改正の要旨
(1) (仮称)根室市 新型コロナウイルス感染症対策 基金	<p>(1) 目的 ふるさと応援寄附金を原資として、新型コロナウイルス 感染症の感染拡大の防止、市民生活の支援及び地域経済 の回復を推進する施策に要する経費に充てるための基金 設置</p> <p>(2) 内容 積立額：一般会計歳入歳出予算で定める額 処分：目的達成に資する経費の財源に充てる場合 に処分</p> <p>(3) 施行期日等 施行期日：公布の日(令和2年6月) 有効期限：令和4年3月末限り(施行から1年10 か月)</p> <p>(4) 基金の規模 積立目標額：約3.6億円 造成時積立額：約3.2億円 造成後見込額：約0.4億円</p> <p>(5) その他 市民を含む寄附者2万2千人の受入れを見込む。</p>

2 特記事項

特になし。

(了)

新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】経済活動回復に向けた支援等)

【新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業】

「市内消費喚起商品券発行事業」概要（案）

- ①プレミアム付き商品券発行 ②飲食店向け商品券発行

1. 目的

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、停滞する市中経済からの回復を図るため、商店等において共通して使用できるプレミアム付き商品券を発行・販売し、また、特に経営に大きな打撃を受けている飲食店向けの商品券を発行・配布することにより、市内消費喚起と地域経済の活性化に資することを目的とする。

2. 事業内容

(1) プレミアム付き商品券発行

- | | |
|----------|----------------------------|
| ① 実施主体 | 根室商工会議所 |
| ② 額面価格 | 13,000円 (500円×26枚) |
| ③ 販売価格 | 10,000円 |
| ④ プレミアム率 | 30% (3,000円) |
| ⑤ 販売部数 | 25,000セット |
| ⑥ 購入限度 | 1人1セットを限度 |
| ⑦ 販売方法 | 市内郵便局11局（簡易郵便局を除く）での販売で調整中 |
| ⑧ 販売期間 | 8月から9月下旬までを予定 |
| ⑨ 取扱期間 | 8月から12月末までを予定 |

(2) 飲食店向け商品券発行

- | | |
|--------|-------------------------------|
| ① 実施主体 | 根室商工会議所 |
| ② 額面価格 | 2,000円 (500円×4枚) |
| ③ 発行部数 | 25,300セット |
| ④ 配布内容 | 1人1セット配布（全市民対象） |
| ⑤ 配布方法 | 世帯主に世帯人数分を郵送 |
| ⑥ 配布時期 | 8月を予定 |
| ⑦ 取扱期間 | 8月から12月末までを予定（プレミアム付き商品券と同期間） |

3. 予算要求額 147,621千円（財源 根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金活用）

(内訳)

- プレミアム付き商品券 75,000千円（プレミアム分）
- 飲食店向け商品券 50,600千円
- 共通事務経費 22,021千円

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】経済活動回復に向けた支援等)

「公共交通需要回復緊急支援事業補助金」制度概要（案）

令和2年5月26日

総合政策部

新型コロナウイルス感染症の収束後に自ら利用回復策に取り組む市内公共交通事業者等に対し、市内公共交通の早期回復を図る観点から、利用回復策に係る補助金を交付する。

1. 制度名称

「公共交通需要回復緊急支援事業補助金」

2. 趣旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による国、道からの緊急事態宣言の発出を受け、市民の行動自粛により、市内公共交通事業者は、路線バスの減便やハイヤーの減車・休車など多大な影響を受けたところであり、緊急事態解除宣言後の今なお、影響が続いていることから、速やかな経済活動回復のため、市内公共交通事業者又は交通事業者組合が自ら実施する前払い式プレミアム付き乗車回数券等を発行する取組に要する経費を補助することにより、市内公共交通の早期回復を図ることを目的とする。

3. 助成対象

根室交通株式会社及び根室ハイヤー組合（※根室ハイヤー組合の取扱事業者は、ハイヤー3社のほか、介護タクシー事業者、運転代行事業者とする。）

4. 助成要件

助成対象者が令和2年8月から令和3年1月までの間において実施する、前払い式プレミアム付乗車回数券等（以下「回数券等」という。）を発行する事業（以下「回数券等発行事業」という。）で、次の各号の全てに該当するものとする。

- (1) 回数券等発行事業に係る要綱等を策定していること。
- (2) 回数券等の不正使用を防止するため必要な措置を講ずること。

5. 用語の意義

(1) 公共交通事業者

一般乗合旅客自動車運送事業、一般乗用旅客自動車運送事業（福祉輸送事業限定を含む）のほか、公安委員会が認定し、他人に代わって自動車を運転する役務を提供する業態を行う事業者をいう。

6. 補助金額

プレミアム（割増）分及び事務費については、次に掲げる金額を上限とする。

事業者名	プレミアム（割増）分	事務費	合計額
根室交通株式会社	10, 000千円	1, 000千円	11, 000千円
根室ハイヤー組合	20, 000千円	2, 000千円	22, 000千円

7. 予算要求額 33, 000千円

(1) 割 増 率 30%

(2) 支 援 額 30, 000千円

(3) 事 務 費 3, 000千円

（定額：印刷製本費、広告宣伝費、通信運搬費、手数料、使用料、人件費ほか）

(4) 販売期間 令和2年8月から令和3年1月まで

(5) 利用期間 発行の日から6か月間以内

※ただし、根室交通発行の回数券等には利用期間を設けない。

(6) 発行総額 130, 000千円

(7) 補助総額 33, 000千円

※ 財源については、「根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金」の活用を見込む。

新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】経済活動回復に向けた支援等)

【新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業】**「中小・小規模事業者グループ応援感染予防対策等緊急支援事業」概要（案）****1. 事業名称** 中小・小規模事業者グループ応援感染予防対策等緊急支援事業**2. 趣 旨**

商店街などの地域の商工団体等が実施する感染拡大防止策や巣ごもり消費等に対応した販売促進等の取り組みを支援する北海道の「中小・小規模事業者感染予防対策等緊急支援事業」を活用して行う取り組みに対し、道補助の上乗せで助成を行い、事業主体の負担を軽減することを目的とする。

3. 対 象 者

北海道の「中小・小規模事業者感染予防対策等緊急支援事業」を活用して事業を行ったグループ（事業主体）を対象。

4. 負担割合 市：1／4 （道：3／4）**5. 助成上限** 1グループあたり50万円**6. 予算要求額** 5,000千円 （内訳）10グループ×500千円=5,000千円

(財源 根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金活用)

※北海道の事業概要

(事業名) 中小・小規模事業者感染予防対策等緊急支援事業

(事業主体)

- ・商店街、商工会・商工会議所等の商工団体等
- ・商工団体等と同一の市町村内の事業者等で構成する任意組織
- ・同一市町村内の複数の事業者等で構成する任意組織。ただし、規約等により代表者の定めがあり、財産の管理等を適正に行うことができる者

(事業内容)

事業主体が行う下記の取り組みに対して支援する。

- ・感染予防：マスク、消毒液、清掃器具、体温測定機器等の購入、消毒液散布等
- ・設備整備：共用施設等の3密を防ぐための設備整備や修繕等
- ・販売促進：販促チラシ・ポスター、クーポン券・商品券の印刷等

(補助内容)

- ・補助率：3／4以内、補助上限：1団体あたり100万円

新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】経済活動回復に向けた支援等)

【新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業】**「市内消費喚起取組事業者応援助成金」制度概要（案）****1. 制度名称** 根室市市内消費喚起取組事業者応援助成金**2. 趣旨**

新型コロナウイルス感染症の影響により集客が落ち、売上が減少している市内中小企業者・小規模事業者が、新たな顧客獲得や集客回復に資するための取り組む費用の一部を助成金として交付することによって、市内消費喚起に取り組む事業者を応援することを目的とする。

3. 対象者（対象業種）

小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業、運輸業（道路旅客運送業のみ）、サービス業（政治・経済・文化団体、宗教を除く）、宿泊業

4. 対象事業

- (1) 新たな顧客獲得に資する事業
- (2) 集客回復に資するために実施する販売促進事業

5. 対象要件

- (1) 市内に事業所、店舗を構える中小企業者・小規模事業者であること。
※中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号に定めるもの。
- (2) 申請日時点で市内で営業しており、今後も事業を継続する意思があること。
- (3) 暴力団等に関与していないこと。

6. 助成額 1事業者あたり上限10万円（申請は1事業者1回限り）**7. 実施期間** 市内消費喚起商品券事業の取扱い期間と連動した取り組みとする。
(商品券事業の実施以前に受付申請を開始するもの。)**8. 予算要求額** 33,000千円（財源 根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金活用）

- 対象事業者（推計） 約660事業所
- 申請率（推計） 50%想定で見込むと約330事業者
- 予算積算 330事業者×100千円=33,000千円

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策
 (経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】経済活動回復に向けた支援等)

●ねむろ水産物普及推進協議会負担金・・・補助額：5,440千円

1. 事業名称 ねむろ水産物普及推進協議会における
 「根室出身学生応援！根室の旨いをお届け隊！」
2. 現 状 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国に「緊急事態宣言」が発令され、多くの業種で休業・営業自粛等の対応がとられたことにより、当市においても、これまで安定供給されていた商品の出荷制限を受け、過剰在庫となり生産体制の縮小を余儀なくされている。一方、漁業者においても、それらの要因などから、原魚の需要が落ち込み、魚価が下落しており、漁家経営においても厳しい状況に直面している。
 他方では、親元を離れ市外の大学等で学ぶ学生の中には、アルバイトによる収入が見込めず、学費等の支払いなどに苦慮し、厳しい生活を強いられている。
3. 漁協の意見
- ・新型コロナウイルス終息後に、まるごと根室の活動を通じ、大々的に物販活動を行って欲しい。
 - ・水産加工が倒れると、原魚の需要が無くなり漁家経営に直結する。
 - ・水産加工の機能維持が、間接的に漁業者支援となる。
4. 目 的 まるごと根室を通じて、地元から離れ市外の大学等で学ぶ学生に対して、新型コロナウイルスの影響から売上が減少している事業者の商品を無料で配布することで、事業者と根室出身学生双方の支援となり、延いては、漁業をはじめとした水産業の生産体制の維持の一助とすることを目的とする。
5. 事業内容 親元を離れている根室市外の学生に対し、新型コロナウイルスの影響により売上が減少した事業者が生産する商品を無料配布する。
- 【商 品】 ● 5,000円相当の水産物の詰め合わせセット
まるごと根室の会員で2～5月のいずれか1カ月の売上
 が20%以上減少している事業所の商品を募集。
- 【対 象】 根室出身学生：400名程度を想定
 ※大学・短大・専門学校等
6. 配布時期 【第1弾】6月から7月
 【第2弾】10月から11月
7. 事業費 5,440,000円 (①+②)
 学 生：400人×5,000円×2回=4,000,000円・・・①
 配送料：400人×1,800円×2回=1,440,000円・・・②
 (財源 根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金活用)

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】長期化への備えと社会変容への対応等)

■医療施設等事業者臨時支援事業〔保健課〕**□制度名称**

医療施設等事業者支援臨時助成金

□概要・目的

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染の不安を抱えながら日夜懸命に業務を遂行されている医療施設等事業者に対し、感染拡大防止の推進及び地域における医療等の提供体制の確保・維持を図る観点から臨時的な助成金を交付する。

□助成対象

令和2年5月1日現在において、市内に所在する医療施設（歯科医院を含む）、介護保険サービス事業者、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、国家資格を有する鍼灸治療院など（以下「施設等」という。）を運営する事業者。

□助成金額

助成対象事業者に対し、一事業者当たり10万円を支給する。

□助成要件

- ・助成金の全額を施設等の従事者を直接支援し、又は、従事者が安心して業務に従事し続けられるための取組に直ちに活用すること。
- ・上記の取組の内容を施設等の全ての従事者に公表すること。

□予算要求額 5,500千円

〔内訳〕

- ・医療施設（歯科医院を含む） 15事業者 × 10万円 = 1,500千円
- ・介護保険サービス事業者など 40事業者 × 10万円 = 4,000千円

※財源については、感染症対策指定寄付金及び根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金の活用を見込む。

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】長期化への備えと社会変容への対応等)

「ICT教育環境整備事業」

【目的】

新型コロナウイルス感染症の拡大による学校休業の長期化を受け、国では、令和5年度に達成目標としていたGIGAスクール構想による児童生徒一人1台の端末整備を前倒し、来年度以降については、国による予算措置がされないことから、当市においても令和2年度中に児童生徒一人に1台のタブレット端末の整備を図る。

また、新型コロナウイルスの第二波、第三波により、再び臨時休業となった場合における遠隔授業の実現を強力に推し進めるための、ICT教育環境の整備を図る。

【内容】

令和元年度3月補正予算において、国のGIGAスクール構想によるICT環境整備を三年間で段階的に進めることとしていたが、新型コロナウイルスによる学校の臨時休業の長期化に伴い、一人1台端末の整備を図るとともに、遠隔授業のための環境の整備を図る。

【予算関係】

総事業費 205,860千円(国費 61,975千円 ふるさと応援関連基金 143,885千円)

※令和元年度3月補正総額 83,269千円(国費 24,703千円 ふるさと応援基金 58,566千円)

令和2年度6月補正総額 122,591千円(国費 37,272千円 ふるさと応援新型コロナウイルス感染症対策基金 85,319千円)

(歳入)

情報機器整備費補助金

総額 37,272千円(小学校 22,780千円 中学校分 14,492千円)

(歳出)

①事業名：12764 ICT教育環境整備事業(小学校)

事業費 73,450千円(国費 22,780千円 ふるさと応援新型コロナウイルス感染症対策
基金 50,670千円)

(整備内訳)

- ・児童用タブレット端末3人に2台分 681台×45千円= 30,645千円
(特財 227台 10,215千円 国庫補助分 454台 20,430千円)
- ・家庭学習用モバイルルーター 165台×10千円= 1,650千円(国庫補助:定額)
- ・遠隔授業用カメラ及びマイク等機材 8校×35千円= 280千円(1/2国庫補助 140千円)
- ・特別支援児童用入出力装置(特支設置校) 7校 560千円(国庫補助:定額)
- ・タブレット管理用ホストPC 8台 1,989千円
- ・端末カバー保護シール 681台×7,150円= 4,870千円
- ・端末設定料 681台×5.5千円= 3,746千円

- ・端末充電保管庫設置及び電源工事 8校分 25,750千円
- ・モバイルルーター通信費 165台×6ヶ月×4千円= 3,960千円

②事業名：12765 ICT 教育環境整備事業(中学校)

事業費 49,141千円(国費 14,492千円 ふるさと応援新型コロナウイルス感染症対策
基金 34,649千円)

(整備内訳)

- ・生徒用タブレット端末3人に2台分 408台×45千円= 18,360千円
(特財 136台 6,120千円 国庫補助分 272台 12,240千円)
- ・家庭学習用モバイルルーター 165台×10千円= 1,650千円(国庫補助：定額)
- ・遠隔授業用カメラ及びマイク等機材 7校×35千円= 245千円(1/2国庫補助 122千円)
- ・特別支援生徒用入出力装置(特支設置校) 6校 480千円(国庫補助：定額)
- ・タブレット管理用ホストPC(併置校除く) 4台 994千円
- ・端末カバー保護シール 408台×7,150円= 2,918千円
- ・端末設定料 408台×5.5千円= 2,244千円
- ・端末充電保管庫設置及び電源工事 7校分 14,250千円
- ・モバイルルーター通信費 165台×6ヶ月×4千円= 3,960千円
- ・遠隔授業教師用大型ディスプレイ 27台 4,040千円

(小学校用は今年度整備：契約済)

根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策

(経済活動回復／フェーズ2：【第1弾】長期化への備えと社会変容への対応等)

■家庭学習応援事業（バースデイブック事業）

<目的>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内小中学校等が臨時休校となり、長期化したことにより子どもたちの学習機会は著しく制限を受け、学習意欲や学力の低下も懸念されている。

また、長引く自粛生活の中で新型コロナウイルス感染症による著名人の死亡などショッキングな出来事も多く、あらためて命の大切さや生きることの素晴らしさを一人一人が考え、行動していくことが求められている。

これらのことから子どもたちの誕生月に本を一冊ずつ配布することで家庭内学習はもとより生きる力を育むための一助とするため本事業を実施する。

<事業概要>

- ・バースデイブック実行委員会を根室市教育委員会、根室市図書館協議会、ねむろ図書館友の会から選出した委員で構成し、推進していく。
- ・実施期間は7月から令和3年3月末まで。
- ・4歳から18歳までの市民をリストアップし、年代別及び誕生月別に分類。
- ・4歳から6歳までは、推薦図書リストより希望図書を選んでいただき、誕生月に郵送等で各家庭に発送する。
- ・小学生以上については、「バースデイブック券：2,000円分」と推薦図書リストを誕生月に配布し、市内書店において希望図書を購入。
- ・4月から6月生まれの子どもについては、7月以降の月に重ねて行う。

※推薦図書リスト以外の書籍も購入は可能だが、漫画雑誌等本事業趣旨にそぐわない書籍は認めない。

<予算要求額>

負担金 バースデイブック実行委員会負担金 6,380千円

書籍料相当分 2,000円×2,747名=5,494,000円
券印刷料相当分 62,216円
案内郵送・発送料相当分 823,396円
(財源 根室市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金活用)

※4月30日現在 4歳～6歳 532名 7歳～18歳 2,215名 計2,747名